

クリプトスポリジウム症の診断は検便でオーシストを検出することによる。急性期の患者便には多量のオーシストが排出されているが、通常の塗沫標本観察では確認がむずかしい。遠心沈殿法やシヨ糖浮遊法により集オーシストを行い、蛍光抗体法、抗酸染色、ネガティブ染色などの染色標本を作製することが望まれる。蛍光抗体染色がもっとも感度が良い検査法で、市販の簡便な染色用キットがある(未承認のため保健適用外)。オーシストの内部構造観察には微分干渉顕微鏡が用いられる。

検査法等に関しては <http://www.nih.go.jp/~tendo/atlas/japanese/crypt.html> を参照されたい。

治療・予防

下痢の程度が軽度である場合には、非特異的治療法である(1)食餌制限、(2)水・電解質の摂取(WHO 処方による ORS で、いわゆるスポーツ飲料水がこれに近い組成)を行う。これに加えて鎮痙剤、激しい下痢症例では止瀉剤が用いられている。

AIDS に合併した症例で、長期間持続する下痢症に対してはパロモマイシン(2 グラム、3 週間)の経口投与が行われる。症状が寛解した段階でパロモマイシンの維持投与を行うこともある。

クリプトスポリジウムは強い感染力を持ち、米国でのヒトへの感染実験では 130 個程度の経口摂取で半数が感染すると計算されている。ちなみに、1 個のオーシストの摂取で感染する確率は 0.4%と計算されている。その後、株によって毒性に差があることが示され、10 個未満の摂取で発症するとの報告もある。オーシストの感染力は、水中で数カ月程度保持されるものと考えられている。また、通常の浄水処理(凝集、沈殿、ろ過)で完全に除去することは困難で、塩素消毒にも抵抗性であることから、水道水汚染には注意が必要である。AIDS 患者をはじめとする免疫機能低下症患者は、生水の摂取などを避けるべきであろう。

感染症法における取り扱い

クリプトスポリジウム症は 4 類感染症全数把握疾患であり、診断した医師は 7 日以内に最寄りの保健所に届け出る。報告のための基準は以下の通りである。

○診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断がなされたもの

・病原体の検出

例、糞便などからの鏡検による原虫(オーシスト)の証明など

《備考》

世界的に広く分布し、本原虫による水道水の汚染が問題となっている。また、米国等ではエイズ患者の重篤な合併症として注目されている。

(国立感染症研究所寄生動物部 遠藤卓郎)

CDCによる健康に関する勧告

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/0110/h1015-1.html>

生物兵器テロの可能性が高い感染症について—炭疽症、天然痘、ペスト、ボツリヌス症についての概要、治療法等

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/0110/h1015-4.html>

<http://www.bt.cdc.gov> (米国厚生省疾病管理・予防センター (CDC) ホームページ)

<http://www.uptodate.com>

Dixon TC, Meselson M, Guillemin J, and Hanna P. Anthrax. N Engl J Med. 1999;341:815-826

<http://www.usamriid.army.mil/education/bluebook.html> (米陸軍感染症医療研究所ホームページ)

<http://www.med.or.jp/etc/terro.html> (日本医師会ホームページ)

<http://www.fda.gov> (連邦食品医薬品局ホームページ)

AMDA熱帯医学データベース

<http://www.amda.or.jp/contents/database/shindangaku/index.html>

炭そ(炭疽)菌—ニュース情報、関連リンク

http://www2d.biglobe.ne.jp/~chem_env/chem8/anthrax.html

炭疽—病原体、臨床症状、疫学の知識、治療等

http://idsc.nih.gov/kansen/k99-g52/k99_46/k99_46.html

米国における同時多発テロ事件に関連して—国内の生物兵器への対応、炭疽、ペスト等の治療ガイドライン(日本医師会による)

<http://www.med.or.jp/etc/terro.html>

厚生労働省「国内の緊急テロ対策関係」ホームページ—炭疽が疑われる患者の診療のポイント等

<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/j-terr.html>

首相官邸 NBCテロ対策関連—生物化学テロへの対応策、政府基本方針等。

<http://www.kantei.go.jp/jp/saigai/terojiken/nbc.html>

農林水産省テロ対策関係

<http://www.maff.go.jp/tr/>

国土交通省における緊急テロ対策

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/terro/terro.html>

オーストラリア情報

http://www.health.gov.au/pubhlth/strateg/communic/factsheets/anthrax_fact.htm

<http://www.epa.gov/epahome/>